

# 中井だより

中井やまゆり園

## 調査委員会の調査結果を受けて

中井やまゆり園長 菅野 大史

9月5日に「県立中井やまゆり園における利用者支援外部調査委員会」の調査結果が取りまとめられ、寄せられた91件の情報のうち、25件が「虐待が疑われる事案」であるとされたことから、県は、障害者虐待防止法に規定される虐待が疑われる事案として関係自治体に通報しました。

この25件の中には、すでに自治体より虐待認定されている「映像とともに報道された事案」も含まれていますが、利用者、ご家族、後見人の皆さんには、園職員による虐待事案や虐待が疑われる事案等が発生したことについてあらためてお詫びいたします。

現在中井やまゆり園では、支援改善アドバイザーが、寮内や日中活動に入り、直接、利用者への支援を行う中で助言を得たり、障害サービス課担当課長の園への常駐などにより、利用者支援の改善やマネジメントの向上に取り組んでいるところです。

そのため、今回の調査結果を受けての園としての改善事項は、虐待と疑われる事案1件1件がなぜ起きたのかしっかりと検証することはもとより、寄せられた情報が91件もあったことも重視し、情報の内容から、園として取り組むべき共通する課題に迅速に取り組むこととしました。

具体的には、(1)「動かないから利用者を台車で運ぶ」など誤った支援の総点検(2)食事支援や、健康面で配慮が必要な利用者への支援等、いのちの危険につながる支援の点検、改善(3)支援が難しいとされる利用者への支援の検討(4)人権に配慮した住環境の構築、の4つを改善項目の柱として、本庁と園が一体となって改善を全力で進め、当事者目線の障がい福祉のモデルとなれるよう、支援を進めてまいります。

皆さんの信頼を一日でも早く取り戻すべく、職員が一丸となって取組みを進めてまいりますので、引き続き、よろしくお願いたします。